

古里に元気な姿

有森 裕子さん

岡山でイベント参加

アトラクタ五輪女子マラソン銅メタリストで、米国での語学留学から一時帰国中の有森裕子さん(三〇)がクルート、岡山市出身が二十九日、岡山市伊福町のノートルダム清心女子大で開かれた国際支援イベント

カンボジアでの体験を話す有森さん



「カンボジア・エイド」に参加。古里の人たちに元気な姿を見せた。

アジア医師連絡協議会(AMDA、本部岡山市)などの主催。有森さんが昨年十二月、カンボジアで開かれた義肢義足普及のチャリティーマラソンに出場したことから、その体験を話

してもらおうと招いた。

約三百人の参加者を前に有森さんは「地雷で手や足を失った人たちに、どんな表情をすればいいか分からなかった」と現地で受けた衝撃を語った後、「私がカンボジアの人と接する機会ができたのもマラソンを続けてきたおかげ。チャンス

を与えられた人間が何かしないといけないと思う」と話した。

続いて記者会見に臨み、米国ボルダーでの生活を披露。毎朝、一時間ほど走っていることや、元気に英会話のレッスンを励んでいること、現地に滞在している外国ランナーとたまに交流していることなどを楽しく話した。

有森さんは四月四日に再び渡米。五月末に帰国し、岡山では六月一日の岡山城築城四百年記念式典などに参加する予定。